

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	249		
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課
事務事業名	00674 旧竹林院管理運営事業	所 属 長	川島 英和
		記 入 者	五十嵐 隆夫

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市旧竹林院の設置及び管理に関する条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する個別計画	
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	旧竹林院管理運営事業費	

事業の概要
 平成5年4月に開設、平成18年度から指定管理者制度を導入し、天津市の主要な観光地である坂本の拠点施設として効率的な管理を行う。また、各種媒体を通じたPRや坂本観光協会等と共同したイベントを実施し、誘客増に努める。
 なお、耐震改修工事を終えて、平成26年9月からリニューアルオープンをしている。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	坂本地区への観光客の増加を図るため
対象 (何又は誰を)	旧竹林院を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果 (どのような状態にするのか)	入館者を増やす。

＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		3,406	3,573	3,576	3,568	3,634	
人件費 B		2,430	4,100	4,100	4,100	4,100	
事業費合計 A+B		5,836	7,673	7,676	7,668	7,734	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,836	7,673	7,676	7,668	7,734	
職員数(人)		0.30	0.50	0.50	0.50	0.50	
職員数の内訳	正規	0.30	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	管理運営費	千円	目標	3,400	3,500	3,500	3,500	3,500
				実績	3,400	3,500	3,500	-	-
	旧竹林院の管理運営に要する経費								
2	開園日数		日	目標	308	308	308	308	308
				実績	313	310	319	-	-
	年間開園日数								
成果指標	1	入園者数	人	目標	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
				実績	19,608	19,601	26,251	-	-
	年間入園者数								
2				目標					
				実績					

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	250		
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課
事務事業名	00675 曳山展示館管理運営事業	所 属 長	川島 英和
		記 入 者	五十嵐 隆夫

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市天津祭曳山展示館条例 第2期天津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
	重事	01	来訪者の受入れ体制整備		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	曳山展示館管理運営事業費	

事業の概要
平成3年12月に開館、平成18年度から指定管理者制度を導入し、効率的な管理を行う。天津祭の曳山の原寸大模型をはじめ、祭を広く周知するための展示を行う。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	天津祭を広く周知し、街歩き観光の拠点としての機能を発揮するため
対象 (何又は誰を)	天津祭曳山展示館を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRにより
成果 (どのような状態にするのか)	入館者が増加するとともに、天津祭の魅力が広く周知される。

＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		11,160	11,332	11,566	11,850	11,909	
人件費 B		2,430	2,050	2,050	2,050	2,050	
事業費合計 A+B		13,590	13,382	13,616	13,900	13,959	
事業費 の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	13,590	13,382	13,616	13,900	13,959	
職員数(人)		0.30	0.25	0.25	0.25	0.25	
職員数 の内訳	正規	0.30	0.25	0.25	0.25	0.25	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	管理運営費	千円	目標	10,703	11,340	11,340	11,340	11,340	
		実績		11,156	11,261	11,261	-	-		
	曳山展示館の管理運営に要する経費									
	2	開館日数	日	目標	308	308	308	308	308	
実績		308		308	308	-	-			
成果指標	1	入館者数	人	目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	
		実績		37,596	32,254	36,786	-	-		
	年間入館者数									
	2			目標						
実績										

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	251		
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課
事務事業名	00676 温泉維持管理事業	所 属 長	川島 英和
		記 入 者	下田 剛史

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市雄琴温泉供給条例 ・大津市温泉保養交流施設条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		第2期大津市観光交流基本計画
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	温泉維持管理事業費	

事業の概要
 雄琴温泉の旅館に対して安定して良質な温泉を供給するため、泉源を含めた温泉供給施設の適正な維持管理を実施する。温泉保養交流施設「比良とびあ」を市北部地域の観光拠点として管理運営を行う。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	大津市の主要な観光地である雄琴温泉や市北部の観光拠点である比良とびあのPRと誘客増を図るため
対象 (何又は誰を)	雄琴温泉の施設や比良とびあの管理運営を
手段 (どのようなやり方で)	雄琴温泉設備については修繕や定期点検等の維持管理と、比良とびあについては指定管理者制度を導入し
成果 (どのような状態にするのか)	安定した温泉供給や指定管理者の工夫により、温泉を中心としたPRと来訪者数の増加を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		12,216	12,138	13,226	12,655	18,178	
人件費 B		4,050	4,100	4,100	4,100	4,100	
事業費合計 A+B		16,266	16,238	17,326	16,755	22,278	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	11,856	12,129	12,532	12,128	12,129	温泉使用料
	一般財源	4,410	4,109	4,794	4,627	10,149	
職員数(人)		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
職員数の内訳	正規	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	雄琴温泉供給日数	日	目標	365	365	365	366	365
				実績	365	365	365	-	-
	年間温泉供給日数								
	2	比良とびあ開館日数	日	目標	360	360	360	360	360
実績				360	360	362	-	-	
年間開館日数									
成果指標	1	比良とびあ利用者数	人	目標	122,000	122,000	122,000	122,000	122,000
				実績	123,494	123,881	119,773	-	-
	年間利用者数								
	2	雄琴地区観光入り込み数	人	目標	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
実績				1,008,500	1,008,700	976,200	-	-	
年間入り込み数(暦年)									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	びわ湖や世界遺産比叡山延暦寺、比叡比良の山並み等優れた観光資源に囲まれ、都市近郊の観光地としてのメリットを有している。台風や地震等自然災害が相次ぎ、利用者数が伸び悩んだ。		
これまでの見直しや改善等の経過	おごと温泉は、源泉管一部の配管換え工事と4号・5号泉源地の制御盤改修工事を実施した。比良とびあについては、温泉ポンプの取替工事や更衣室の床の貼替え修繕を行った。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	温泉設備については、大規模で複雑な供給管が道路に埋設されており、また温泉の汲み上げ量は温泉全体で管理する必要があることから、複数の旅館に供給するためには市営が望ましい。比良とびあについては、地元から用地の賃借を受けている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	おごと温泉の入込客数と比良とびあの利用者数については、それぞれ前年実績と目標値を下回っている。台風や地震等自然災害が相次ぎ、厳しい結果となった。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	おごと温泉の維持管理費は、温泉使用料で賄えている。比良とびあについては、指定管理者制度の導入により利用料金収入が見込めるため、指定管理料が不要であり、効率性は高い。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	毎年、一定数の入込客数を確保し、都市近郊の温泉地として本市の主要な観光地である。また、おごと温泉では入湯税収入もあり、施設に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	都市近郊の温泉である雄琴と市北部のレジャーと一体となった温泉施設である比良とびあは、大津では数少ない温泉施設であることを有効に活かし、他施設との連携等周辺地域と協力のもと集客に努める。また、温泉施設機器が老朽化しているため、温泉を安定供給できるよう機器の更新等適性に管理していく。
部局長コメント	今後も継続して、温泉設備の適正な管理と安定供給に努めるとともに、周辺地域等と連携し事業展開を図っていくこと	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1 101.22 %	101.54 %	98.17 %
	指標2 100.85 %	100.87 %	97.62 %
成果増減率	指標1 - %	+0.31 %	-3.31 %
	指標2 - %	+0.01 %	-3.22 %
活動単位コスト	指標1 44 千円	44 千円	47 千円
	指標2 45 千円	45 千円	47 千円
成果単位コスト	指標1 0 千円	0 千円	0 千円
	指標2 0 千円	0 千円	0 千円
コスト増減率	- %	-0.33 %	+10.30 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	252		
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課
事務事業名	00678 公人屋敷管理運営事業	所 属 長	川島 英和
		記 入 者	五十嵐 隆夫

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市公人屋敷の設置及び管理に関する条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する個別計画	第2期大津市観光交流基本計画
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
	重事	01	来訪者の受入れ体制整備		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	特定	評価対象事業	公人屋敷管理運営事業費	

事業の概要
 平成17年11月に公人屋敷として開設するとともに指定管理者制度を導入し、大津市の主要な観光地である坂本の拠点施設として効率的な管理を行う。また、各種媒体を通じたPRや坂本観光協会等と共同したイベントを実施し、誘客増に努める。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	坂本地区への観光客の増加を図るため
対象 (何又は誰を)	公人屋敷を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果 (どのような状態にするのか)	入館者を増やす。

＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		4,096	3,953	3,952	3,973	3,992	
人件費 B		1,620	2,050	2,050	2,050	2,050	
事業費合計 A+B		5,716	6,003	6,002	6,023	6,042	
事業費 の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,716	6,003	6,002	6,023	6,042	
職員数(人)		0.20	0.25	0.25	0.25	0.25	
職員数の 内訳	正 規	0.20	0.25	0.25	0.25	0.25	
	嘱 託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨 時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	管理運営費	千円	目標	4,094	3,950	3,950	3,970	3,989
		実績		4,094	3,950	3,950	-	-	
	公人屋敷の管理運営に関する経費								
	2	開館日数	日	目標	308	303	303	303	303
実績		304		307	306	-	-		
年間開館日数									
成果指標	1	入館者数	人	目標	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
		実績		2,720	2,958	2,780	-	-	
	年間入館者数								
	2			目標					
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	比叡山延暦寺の門前町として古くから栄え、伝統的建造物保存地区として街並みなど優れた観光資源がある坂本は、来年の大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公縁の地でもあることから、さらに注目されることが期待できる。	
これまでの見直しや改善等の経過	指定管理者制度による効率的な管理を行ってきた。また、入館者数増加のため、坂本地域の住民による「公人屋敷を考える会」を立ち上げ、地域に眠る歴史的な資料等の展示など、新たな自主事業に取り組んでいる。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市の文化財である主屋、米蔵、馬屋を持つ公人屋敷は、坂本地域の観光資源であり、その価値を広く一般に公開する必要があるため。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	「公人屋敷を考える会」で出た提案や提供された資料の展示や、関係機関等と連携した様々な自主事業を展開するなど、入館者数増加のための施策を展開しているが、施設の分かりにくさや、駐車場が隣接していないことなどの課題もあり、目標値には達していない。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	指定管理者制度を導入し、効率的な運営に取り組んでいる。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	週1日の休館日を除き、常時一般公開しており、坂本地域の観光の拠点施設及び魅力発信基地として機能しているが、入館者数が目標値に達していない。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	大河ドラマ放映を機に、地域とも連携し、来訪者・利用者増加のため知名度向上を図ること

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	75.55 %	82.16 %	77.22 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+8.75 %	-6.01 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1 千円	1 千円	1 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	2 千円	2 千円	2 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-3.42 %	+6.38 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	253				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	00679	文化観光振興等助成事業	記 入 者	福井 美穂	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市文化観光振興基金 条例、天津市文化観光振興 助成金交付要綱	
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関連する 個別計画		第2期天津市観光交流基 本計画
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進			
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進			
重事	01	来訪者の受入れ体制整備				

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00792	文化財保存修理等補助事業	2406	文化財保護課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	文化観光振興等助成事業費	

事業の概要
観光交流に寄与する文化財等を保存、継承、活用するための天津市文化観光振興基金を設置し、修繕等の事業経費の一部について支援している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	観光資源となる文化財等を保存、継承、活用し、もって観光交流に資するため
対象 (何又は誰を)	助成対象事業を実施する個人または団体に
手段 (どのようなやり方で)	助成対象事業の経費の一部を助成金として交付する。
成果 (どのような状態にするのか)	観光資源となる文化財等を保存、継承、活用することによる観光入込客数の増加する

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		54	282	155	301	301	
人件費 B		1,620	2,050	2,050	2,050	2,050	
事業費合計 A+B		1,674	2,332	2,205	2,351	2,351	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	54	282	155	301	301	文化観光振興基金
	一般財源	1,620	2,050	2,050	2,050	2,050	
職員数(人)		0.20	0.25	0.25	0.25	0.25	
職員数 の内訳	正規	0.20	0.25	0.25	0.25	0.25	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	助成金額	千円	目標	149	310	310	301	301	
				実績	54	282	155	-	-	
	個人または団体への助成金額									
	2	助成件数	件	目標	2	2	2	2	2	
実績				2	6	5	-	-		
個人または団体が実施する事業に対する助成件数										
成果指標	1	大津祭の来訪者数	千人	目標	153	153	153	153	153	
				実績	180	173	160	-	-	
	大津祭観光入込客数(大津祭曳山保存修理に係る費用助成効果)									
	2				目標					
			実績							

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	254	
部局名	産業観光部	所属名 観光振興課
事務事業名	00683 観光案内所管理運営事業	所属長 川島 英和 記入者 田尾 一樹

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	第2期大津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備		関連する個別計画	
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	観光案内所管理運営事業費	
事業の概要	大津市観光の玄関口であるJR大津駅、堅田駅前、京阪石山駅と、主要な観光地の志賀と坂本と石山寺に観光案内所を開設、さらには市内外のイベント等において臨時的サテライト観光案内所を設置し、観光客に対するきめ細やかな情報提供、パンフレット類の配布及びイベントのPR等を行う。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	来訪者が求める観光情報を提供するために
対象 (何又は誰を)	観光案内所を
手段 (どのようなやり方で)	設置するとともに、観光案内所や観光資源の場所を分かりやすく誘導表示を行ったり、来訪者のニーズに応えられる情報や地元でしか入手できない情報を収集し、伝えることで
成果 (どのような状態にするのか)	大津の魅力を伝え、大津ファンを増やし、来訪者の増加に貢献する。

<3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		32,177	49,737	51,968	44,752	43,921	
人件費 B		4,860	6,150	6,150	6,150	6,150	
事業費合計 A+B		37,037	55,887	58,118	50,902	50,071	
事業費の内訳	国	0	0	0	2,882	2,717	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	2,134	2,314	2,171	2,171	大津駅レンタサイクル利用料収入
	一般財源	37,037	53,753	55,804	45,849	45,183	
職員数(人)		0.60	0.75	0.75	0.75	0.75	
職員数の内訳	正規	0.60	0.75	0.75	0.75	0.75	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

<4. 指標> DO

		指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	年間営業日数	日	目標	359	359	359	360	359
				実績	359	359	359	-	-
	2	年間営業日数		目標					
				実績					
成果指標	1	観光案内所利用人数	人	目標	90,000	120,000	120,000	120,000	120,000
				実績	169,879	196,691	189,822	-	-
	2	観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
				実績	13,575	13,822	13,430	-	-
		1月～12月の観光入込客数							

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	255		
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課
事務事業名	00686 観光振興事業	所 属 長	川島 英和
		記 入 者	福井 美穂

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市補助金等交付規則
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する 個別計画	天津市第2期観光交流基本計画
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			

関連事業	コード	事 務 事 業 名 称	コード	所 属 名 称

予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	政策	評価対象事業	観光振興事業費	

事業の概要
各種団体に対する負担金や天津三大祭等の各地域のイベント経費の一部について支援している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 (負担金)

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	観光交流の推進及び来訪者の増加による滞在時間の延伸と観光消費額の増加を図るため。
対象 (何又は誰を)	市内各地域の観光協会や観光関連事業者など。
手段 (どのようなやり方で)	地域住民や観光関連事業者との関係性を築き、合意形成を図りながら協働による事業推進を行う。
成果 (どのような状態にするのか)	観光交流事業の推進及び観光入込客数の増加

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		67,480	48,773	47,507	47,375	46,475	
人件費 B		25,284	8,200	8,200	7,954	8,200	
事業費合計 A+B		92,764	56,973	55,707	55,329	54,675	
事業費 の財源 内訳	国	0	0	4,758	5,318	4,758	地方創生推進交付金
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	20,955	21,100	20,850	18,756	17,856	地域振興基金
	一般財源	71,809	35,873	30,099	31,255	32,061	
職員数(人)		3.50	1.00	1.00	0.97	1.00	
職員数 の内訳	正規	2.90	1.00	1.00	0.97	1.00	
	嘱託	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	補助金額	千円	目標	56,491	56,491	56,491	56,491	56,491
				実績	55,363	44,158	47,507	-	-
	会費、負担金、補助金総額								
2	補助事業数		件	目標	20	20	20	20	20
				実績	18	18	19	-	-
	会費、負担金、補助金延件数								
成果指標	1	観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
				実績	13,575	13,821	13,430	-	-
	1月～12月までの観光入込客数								
2	会議開催数		回	目標	10	10	10	10	10
				実績	20	20	20	-	-
観光戦略意見交換会議・観光協会情報交換会の会議開催回数									

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	256		
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課
事務事業名	01931 観光交流推進事業	所 属 長	川島 英和
		記 入 者	佐藤 夏姫

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	第2期大津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備		関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	観光交流推進事業費	

事業の概要
 平成29年度から平成32年度までを期間とする第2期大津市観光交流基本計画が始まり、4年後の目指す姿として「選ばれる観光地」を掲げている。同計画に基づき、他の観光地と差別化できる大津ならではの良さの磨き上げを行い、オンリーワンのびわ湖を基調とした3つのテーマ（びわ湖リゾート、歴史・文化体験の宝湖、スポーツ観光の聖地）に沿って様々な施策に取り組む。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他（会費負担）

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	観光交流の推進や観光客(来訪者)の増加による滞在時間の延伸と観光消費額の増加を図るため。
対象 (何又は誰を)	市内各地域の観光協会や観光関連事業者など。市内に点在する観光資源等を活用する。
手段 (どのようなやり方で)	地域住民や観光関連事業者との関係性を築き、合意形成を図りながら事業推進を行う。
成果 (どのような状態にするのか)	本市の知名度向上とともに、観光入込客数が増加し、市内周遊が促進され、観光消費額が増加する。

＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		33,622	55,228	53,989	52,423	42,623	
人件費 B		17,184	22,015	26,125	26,125	26,125	
事業費合計 A+B		50,806	77,243	80,114	78,548	68,748	
事業費 の財源 内 訳	国	0	4,898	18,222	16,250	18,875	地方創生推進交付金
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	1,700	0	湖都大津まちづくり基金
	一般財源	50,806	72,345	61,892	60,598	49,873	
職員数(人)		2.50	3.00	3.50	3.50	3.50	
職員数 の内訳	正規	1.90	2.50	3.00	3.00	3.00	
	嘱託	0.60	0.50	0.50	0.50	0.50	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	負担金額	千円	目標	6,650	6,650	6,650	6,650	6,650
		実績		5,476	12,172	12,310	-	-	
	会費、負担金、補助金総額								
	2	負担金及び補助金の件数	件	目標	7	7	7	7	7
実績		8		8	8	-	-		
成果指標	1	観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
		実績		13,575	13,822	13,430	-	-	
	1月～12月の観光入込客数								
	2			目標					
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	平成29年から第2期観光交流基本計画がスタートし、「えらばれる観光地」を目指して、滞在時間の延伸と観光消費額の増加につながる取り組みを推進していく。		
これまでの見直しや改善等の経過	KPIの数値を年次ごとに検証し、同計画の進捗について随時確認を行う。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	観光関連事業などが主体となり、継続的な取り組みに繋がっている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	観光入込客数は天候不良でイベント中止などが相次ぎ全体的に伸び悩み、目標の数値には達していないが、平成29年度と同等の入込数はあり、一定の成果は上がっている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	着地型商品づくりや大津市観光総合パンフレットを作成し、市内の周遊を図るとともに、SNSを活用して本市の魅力を積極的に発信している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	本市に所在する観光資源の魅力や価値をあらためて認識し活用することで、更なる観光客の誘客促進につながり、着実に反映されている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	第2期大津市観光交流基本計画にある「選ばれる観光地」を目指し、引き続き、百人一首かるたを活用した観光プロモーション、大河ドラマ「麒麟がくる」を契機とした観光振興事業、北部保養所等の各種事業を推進し、本市への観光誘客の促進、市内の着地型周遊の充実に努める。
部局長コメント	基本計画に基づき、滞在時間の延伸と観光消費額の増加に向けて、観光関連事業者に対して今後も効率的な支援を図ること	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	96.96 %	98.72 %	95.92 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+1.81 %	-2.83 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	9 千円	6 千円	6 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	3 千円	5 千円	5 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+49.31 %	+6.74 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	257	
部局名	産業観光部	所属名 観光振興課
所属長	川島 英和	
事務事業名	02121 おごと温泉観光公園管理運営事業	記入者 下田 剛史

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	大津市おごと温泉観光公園条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関連する個別計画	第2期大津市観光交流基本計画
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	01	オンリーワンを活かす着地型観光の推進		
重事	01	来訪者の受入れ体制整備			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	おごと温泉観光公園管理運営事業費	

事業の概要
 大津市の主要な観光地であるおごと温泉エリア内に、来訪者に癒しと交流の場を与えるため、足湯や公園及び地元物産の展示販売、飲食の提供、周辺の観光案内を行う新たな観光拠点を整備し、指定管理者制度導入による効率的な運営とおごと温泉への誘客増を図る。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	おごと温泉への誘客増と地域住民や観光客の交流を促進するため
対象 (何又は誰を)	おごと温泉観光公園を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者制度の導入による効率的な管理と積極的なPRや誘客イベントの実施により
成果 (どのような状態にするのか)	おごと温泉観光公園やおごと温泉に多くの観光客が訪れ、地元物産を購入し、帰られた後もおごと温泉をPRしていただけるようにする。

<3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		18,251	17,959	17,945	17,066	16,881	
人件費 B		2,430	4,100	4,100	4,100	4,100	
事業費合計 A+B		20,681	22,059	22,045	21,166	20,981	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	189	196	204	195	196	自主事業収入還元金
	一般財源	20,492	21,863	21,841	20,971	20,785	
職員数(人)		0.30	0.50	0.50	0.50	0.50	
職員数の内訳	正規	0.30	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

<4. 指標> DO

		指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	開場日数	日	目標	362	358	358	359	358
				実績	360	360	360	-	-
	2	開場日数		目標					
				実績					
成果指標	1	おごと温泉観光公園入り込み客数	人	目標	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
				実績	69,961	65,935	65,722	-	-
	2	年間の入り込み客数		目標					
				実績					

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	258				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	02615 インバウンド国際観光推進事業	記 入 者	山田 創		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	第2期大津市観光交流基本計画	
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			関連する個別計画
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします			
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進			
	視点	02	インバウンド観光への情報発信			
重事	01	インバウンド事業の推進				

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	インバウンド国際観光推進事業費	

事業の概要
 増加傾向にある外国からの来訪者に対し、情報発信及び受入体制の整備を図り、来訪者の増加及び滞在時間の延長から観光消費額の増額を通して、地域の活性化を図る。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他（負担金）

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	来訪者数の増加及び滞在時間の延長のため
対象 (何又は誰を)	外国からの来訪者
手段 (どのようなやり方で)	情報発信や受入体制の整備により
成果 (どのような状態にするのか)	観光消費額が増加し、地域の活性化につながる。

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	81,154	73,861	49,419	40,435	39,441	平成30年度は債務負担
人件費	B	24,175	28,165	32,275	32,275	32,275	
事業費合計 A+B		105,329	102,026	81,694	72,710	71,716	
事業費の財源内訳	国	10,120	19,305	10,716	16,200	14,525	30→31債務負担有
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		95,209	82,721	70,978	56,510	57,191	
職員数(人)		3.30	3.75	4.25	4.25	4.25	
職員数の内訳	正規	2.80	3.25	3.75	3.75	3.75	
	嘱託	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	市政府、団体、旅行会社等訪問数	社	目標	36	36	36	36	36
				実績	78	88	68	-	-
	市政府、団体、旅行会社などの現地セールス及びFAMツアーの実施								
	2				目標				
			実績						
成果指標	1	外国人宿泊者数	千人	目標	180	210	210	210	210
				実績	203	208	205	-	-
	市内宿泊施設への外国人宿泊者（滋賀県観光客入込状況調査）								
	2				目標				
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	訪日外国人観光客は順調に増加しているが、近隣市町の宿泊施設の増加に伴い、本市外国人宿泊客数の増加に繋がりが見られる。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成28年度から台湾、タイ、フランスをターゲット市場として、認知度向上のためトップセールスやツアー、旅行博出展などの取組みに加え、フェイスブック等のSNSを活用した情報発信を展開している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	国は2020年の東京オリンピックに向け、訪日外国人旅行者4000万人の目標達成に向けた取組みを進めており、本市もこれを好機と捉えて、積極的に事業を展開していく。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	本市外国人宿泊客数の増加傾向が鈍化しているが、滋賀県や近畿圏内と比較すると順調に推移していることから、一定の成果が上がっている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	フェイスブックなどのSNSを活用した情報発信を行うなど、インターネットを通して効果的に本市の魅力を現地の人々へ届けることが出来ている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	海外の現地旅行会社等に加え、フェイスブック等のSNSを活用した現地への情報発信の取組みにより、ターゲット市場における本市の認知度が向上するとともに、本市を含むツアーが造成されるなど、着実に反映されてきている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	海外からの観光客の誘致については、継続的な取組みが必要であり、引き続き、市内観光事業者と連携・協力しながら、台湾、タイ、フランスに加え、欧米豪の英語圏を新たなターゲット市場に設定することを含めて取組みを実施する。
部局長コメント	外国人旅行者のさらなる誘致等、ターゲット国の調査に基づいた効率的かつ効果的な施策展開を図ること

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標達成率	指標1	112.77 %	99.04 %	97.61 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+2.46 %	-1.44 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,350 千円	1,159 千円	1,201 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	518 千円	490 千円	398 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	-5.46 %	-18.75 %	

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	259		
部局名	産業観光部	所属名	観光振興課
事務事業名	01389 (公社)びわ湖大津観光協会運営補助事業	所属長	川島 英和
		記入者	福井 美穂

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	天津市補助金等交付規則、(公社)びわ湖大津観光協会運営補助金交付基 第2期大津市観光交流基本計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	03	広域観光プロモーションの充実		
	重要	01	情報の収集、分析及び発信	関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	(公社)びわ湖大津観光協会運営補助金	

事業の概要
公益社団法人びわ湖大津観光協会の人件費等にかかる運営補助金及び宣伝事業・イベント開催にかかる経費を支援している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	大津市における観光資源を開発し、来訪者の誘致促進を図ることにより、観光事業の健全な発展と観光を通じた地域経済の活性化及び文化の振興並びにインバウンドを推進するため。
対象 (何又は誰を)	公益社団法人びわ湖大津観光協会
手段 (どのようなやり方で)	協会の運営事業(人件費等)、宣伝事業、イベント開催にかかる経費を支援する。
成果 (どのような状態にするのか)	公益社団法人びわ湖大津観光協会運営事業の拡充を図ることによる観光交流の推進及び観光入込客数の増加

<3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		78,012	75,377	73,561	68,099	68,099	
人件費 B		4,050	4,100	4,100	3,690	4,100	
事業費合計 A+B		82,062	79,477	77,661	71,789	72,199	
事業費の内訳	国	0	0	2,424	879	0	地方創生推進交付金
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	7,192	9,891	8,785	0	0	地域振興基金等
	一般財源	74,870	69,586	66,452	70,910	72,199	
職員数(人)		0.50	0.50	0.50	0.45	0.50	
職員数の内訳	正規	0.50	0.50	0.50	0.45	0.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

<4. 指標> DO

		指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	補助金額	千円	目標	80,669	78,715	77,684	78,715	78,715	
				実績	78,012	75,377	73,561	-	-	
	(公社)びわ湖大津観光協会に対する補助金額									
2	補助事業数	件	目標	12	12	12	12	12	12	
	補助対象事業数		実績	12	11	11	-	-		
成果指標	1	観光入込客数	千人	目標	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	
				実績	13,575	13,822	13,430	-	-	
	1月~12月までの観光入込客数									
	2	実施イベント観客数	千人	目標	455	455	455	455	455	
実績				490	499	398	-	-		
びわ湖大津マザレ祭り(※H30は中止)・びわ湖大花火大会・ライトアップ・びわ湖開きの観客数										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	本市観光行政の発展に寄与すべく、観光協会の安定的な運営と事業実施の為に補助金を支出しているが、自主財源の確保や自主事業の立ち上げ等が喫緊の課題である。	
これまでの見直しや改善等の経過	大津市補助制度適正化方針等に基づき、平成24年度から随時補助制度の見直しを行っている。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	当協会は、本市の観光振興に寄与することを目的に設立された公益社団法人であり、観光事業に携わる事業者が構成員となっている。観光事業を協働して進める相手方としては妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	平成30年度については台風等によるイベントへの大きな影響があった中、市内来訪者や実施イベント観光客数を一定数以上維持しており、成果は上がっている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	観光事業者により構成され、観光に特化した事業推進が可能な当協会が地域や他団体と協力して事業を実施することは効果的、かつ効率的である。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	協会が地域や事業者との窓口になることで、市の施策が効率的に実施できている。
---------	--	---------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	行政と協会の役割分担を明確化し、今後も相互に協力しながら、効果的な連携及び情報共有を行っていく。また、補助金の適正化を図りつつ、協会のメリットを活かした自主事業を展開していけるよう促していく。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1 96.96 %	98.72 %	95.92 %
	指標2 107.69 %	109.67 %	87.47 %
成果増減率	指標1 - %	+1.81 %	-2.83 %
	指標2 - %	+1.83 %	-20.24 %
活動単位コスト	指標1 1 千円	1 千円	1 千円
	指標2 6,838 千円	7,225 千円	7,060 千円
成果単位コスト	指標1 6 千円	5 千円	5 千円
	指標2 167 千円	159 千円	195 千円
コスト増減率	- %	-4.88 %	+11.53 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	59	
部局名	市民部	所属名
事務事業名	03400 国際スポーツ大会等招致事業	所属長
		記入者

<1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	大津市スポーツ推進計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進		
	視点	04	スポーツ観光の推進		
重事	01	大津の特長を活かしたスポーツの推進		関連する個別計画	
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	国際スポーツ大会等招致事業費	
事業の概要	国際スポーツ大会等の開催を契機に、チームキャンプ地等の招致活動やホストタウン事業の推進を通じて、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図り、もってスポーツ観光を推進する。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金）				

<2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	市民の国際スポーツ大会への機運を高めるために
対象 (何又は誰を)	市民を対象に
手段 (どのようなやり方で)	国際スポーツ大会の啓発イベントの実施やホストタウン交流事業を推進することにより
成果 (どのような状態にするのか)	参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る。

<3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備考
直接経費	A	0	1,688	2,569	48,192	6,650	
	人件費 B	0	1,148	2,050	10,168	10,168	
	事業費合計 A+B	0	2,836	4,619	58,360	16,818	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	5,864	0	
	一般財源	0	2,836	4,619	52,496	16,818	
職員数(人)		0.00	0.14	0.25	1.24	1.24	
職員数の内訳	正規	0.00	0.14	0.25	1.24	1.24	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

<4. 指標> DO

		指標名	単位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	啓発イベント・交流事業の実施回数	回数	目標	0	6	6	6	3	
				実績	0	6	4	-	-	
	国際スポーツ大会の啓発イベント及びホストタウン交流事業の実施延べ回数									
	2			目標						
		実績								
成果指標	1	啓発イベント・交流事業の参加人数	人	目標	0	3,000	3,000	3,000	1,500	
				実績	0	4,087	11,356	-	-	
	各事業の参加延べ人数									
	2			目標						
		実績								

